



2024年5月31日

各位

会社名 株式会社 ヤガミ
代表者名 代表取締役社長 小林 啓介
(コード: 7488、名証メイン市場)
問合せ先 取締役経営管理部長 佐貫 匡
(TEL. 052-951-9252)

2024年4月期 通期業績予想と実績との差異 および配当予想の修正に関するお知らせ

2023年6月2日に公表いたしました2024年4月期の通期連結業績予想と、本日公表の実績に差異が生じたので、下記のとおりお知らせいたします。また、2024年4月期の配当予想を修正いたしましたので、併せてお知らせいたします。

記

1. 業績予想と実績との差異

2024年4月期通期連結業績予想と実績との差異 (2023年4月21日~2024年4月20日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	9,790	1,430	1,450	930	177.30
実績値(B)	10,545	1,861	1,883	1,203	229.46
増減額(B-A)	755	431	433	273	
増減率(%)	7.7	30.2	29.9	29.4	
(ご参考)前期実績 (2023年4月期)	10,889	1,831	1,855	1,177	224.47

(差異の理由)

当連結会計年度は、新型コロナウイルス感染症の収束により、文教分野の関連予算が大幅に縮小された他、国内外における感染症対策需要も大きく減退しました。一方で、コロナ禍で滞っていた学校校舎の改修工事に進捗が見られた他、半導体業界を中心としたエレクトロニクス関連産業においては、地政学的リスクの回避や社会のデジタル化を背景とした設備投資の国内回帰が進みました。

このような状況のもと、当社グループでは、学校向け実習台や収納戸棚類の拡販を進めた他、半導体メーカーの設備投資に伴う保温・加熱用ヒーターの受注獲得や、国内外での環境試験装置の拡販に努めてまいりました。

この結果、当連結会計年度の売上高、営業利益、経常利益、親会社株主に帰属する当期純利益は当初予想を上回りました。

2. 配当予想の修正

2024年4月期 配当予想の修正

	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期 末	合 計
前回発表予想 (2023年6月2日発表)	円 銭 —	円 銭 0 00	円 銭 —	円 銭 124 00	円 銭 124 00
今回修正予想				161 00	161 00
当期実績	—	0 00	—		
前期(2023年4月期)実績	—	0 00	—	157 00	157 00

(修正の理由)

当社は、株主に対する利益還元を経営における重要施策の一つであると考えており、配当につきましては、持続的な成長や事業リスクへの備えに必要な財務の健全性とのバランスも考慮のうえ決定しております。

直近の配当予想では、上記方針並びに前回業績予想に基づき、1株につき124円としておりましたが、今回の業績修正予想並びに財務状況等を総合的に勘案した結果、2024年4月期の配当につきましては、連結配当性向が70.2%となる1株につき161円に修正いたします。株主の皆様への還元につきましては、引き続き検討を続けてまいります。

(注)上記の予想は、発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績等は、今後の様々な要因により予想数値と異なる可能性があります。

以 上